

2022年度の授業

グループワークでは、各グループで取り組みたいマイノリティ問題を決め、マイノリティの方々のライフヒストリーをもとにして、具体的な課題を発見しました。なお、各グループで取り組んだマイノリティは、性的マイノリティ、視覚障害者、身体障害者、発達障害者、ハンセン病者、被差別部落出身者、アイヌ民族、在日外国人、貧困者でした。

受講者の感想

- ◆ 歴史的背景やライフヒストリーを深く知ることができる良い機会になった。また、他のグループの発表でも性差別や人種差別、貧困など今もなお問題となっていることのバックグラウンドが意外なものもあり、興味深かった。マイノリティの人々が抱える問題を自分自身に関連させて今まで以上に理解することができた。いろいろな面で成長することができる授業だった。（創造工学部1年生）
- ◆ 様々なテーマのマイノリティについての知識を得ることができました。それと同時に、誰もが生きやすい世の中を作っていくには、まだまだ課題や問題がたくさんあるのだと感じました。それぞれのグループのテーマに沿ったマイノリティの人々の歴史的背景やライフヒストリー、そこから考えられる課題や解決策を発見することができたので良かったです。（教育学部1年生）
- ◆ マイノリティや差別の問題について詳しく学ぶことができただけでなく、ジグソー学習法など様々な学習の方法も学ぶことができ、良い経験になった。他者のライフヒストリーから課題を見つけるというのは難しいと感じる部分もあったが、回数を重ねるにつれて、ライフヒストリーを徐々に読み解くことができるようになっていくのを感じ、楽しかった。（法学部1年生）